戌年 平成三十年

謹んで新年の

2018

『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が登録されました。

町内の出来事を振り返りますと、九月十八日に台風十八号の通過に伴う記録的な大雨により、天野川や石崎川が氾濫し、一時は湯ノ岱地区が孤立状態となってしまいました。改めて防災対策の重要性を再認識しました。

次に農業は、水稲をはじめとする各作物は概ね平年作となり、特に本町の特産品であるキヌサヤエンドウ、スナップエンドウの販売額は一億二千万円を超えることができました。

一方漁業は、漁獲量及び水揚げ額とも前年を下回り未だ低迷から抜け出せない状況にありますが、九年前から継続してきましたニシン稚魚放流事業により、昨年二月に鰊の産卵で海が濁る「群来」という現象を百四年ぶりに確認することができ、ニシン漁の復活を期待しているところであります。

また、町民の憩いの場所である花沢温泉がリニューアルオープンし、連日沢山の町民が温泉を楽しんでおります。

今、日本は少子高齢化による人口減少が急激に進んでおり、地方の役割はますます重要となってきております。そのような中で、今年はスポーツの拠点として、また災害時の避難場所としても活用できるスポーツセンターが完成いたします。完成を記念して七月一日には、バレーボールVプレミアリーグの二チームによる交流試合を開催予定です。

また、昨年から改築工事をしておりました道の駅「文珠」が、本年四月にリニューアルオープンを予定しております。これまでのレストランや物産販売センターのほか和菓子を中心としたお土産の製造販売も手がけて、本町を訪れる人たちにとって魅力ある道の駅に生まれ変わります。今後、「文珠」は本町観光の総合拠点として、町内の物産を取り扱う地域商社としての役目を担って参ります。

今年は戌年。犬は社会性のある忠実な動物であり、人との付き合いも親しみ深いことから、干支としての特徴は「勤勉で努力家」とあります。

私は、この様な時代だからこそ、「輝くまち・わたしたちの上ノ国」実現のため、我が町が更なる発展を続けるよう、町民皆様にはより一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い致しますとともに、平成三十年この新しい年が明るい話題で満ちあふれ、町民皆様一人ひとりにとって実り多い素晴らしい年でありますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成三十年元旦